

インフルエンザについて専門医師に聞く

富山労災病院

勤労者呼吸器センター長 武内浩一郎

第2回

”インフルエンザ本番到来、怖いのは肺炎と脳炎、備えを万全に”



労災病院だより10月号で、”新型インフルエンザ、被害をくいとめるための一人一人の心がけ、リスクの高い人は特に注意を”を書かせていただきました。合わせてお読みいただければ幸いです。あれから2ヶ月、季節は冬、いよいよ、インフルエンザとの決戦の時がきました。皆さん、準備は万全でしょうか。

新型インフルエンザが猛威をふるっていますが、季節性インフルエンザも、例年12月頃からA型の流行が、やや遅れてB型が始まり、1～3月に流行のピークを迎えます。今年は春にB型が大流行したことも忘れてはなりません。新型、季節性A型、B型インフルエンザばかりではありません。冬に流行る嘔吐、下痢を伴う風邪ウイルスも猛威をふるい始めています。ゲリラ戦の時は過ぎ、周りは敵だらけの総力戦、まさに魚津城の闘いの火ぶたが切られようとしています。この闘いを勝ち抜くには、相手を知り、己を知り、準備を整えることです。

季節性インフルエンザのワクチンはお済みですか。新型インフルエンザのワクチンも、心臓疾患や慢性の呼吸器疾患、透析を受けている方、糖尿病で治療を受けている方など、リスクの高いヒトから順次始まっています。自分がいつ頃新型インフルエンザワクチンを打ってもらえるか、かかりつけの医師や病院に相談して下さい。新型と季節性のワクチンは同時接種が可能です。又、肺炎の原因として最も多い肺炎球菌に対するワクチンも高齢の方はすませておくべきです。肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチンは原則6日以上開けますが、医師の判断で一度に打つこともできることに最近なりました。

インフルエンザで恐ろしいのは合併症、肺炎と脳炎です。脳炎は小児が中心、肺炎は年配の方が中心です。お子さんが意識がもうろうとしたり、おかしな言動、行動が見られたらすぐに医療機関に相談して下さい。肺炎は、インフルエンザによる発熱が一度治まりかけてから再び上昇に転じた時が危険サインです。激しい咳、色の濃い痰、胸痛、息切れも肺炎の併発を教えてくれる大切な兆候です。早期発見、迅速な対応こそが命を分けます。様子を見てはいけません。サインを見逃さず迷わず医療機関を受診すべきです。心臓病や慢性呼吸器疾患、糖尿病を患っている人は言うにおよばず、過労、深酒、不規則な生活、口の清潔が保てていないヒトが危険です。バランスのとれた食事、十分な休養、歯磨き、うがいを励行して下さい。誤嚥も肺炎の引き金になります。高齢者、体の不自由な方の周りの人は、飲食時のむせやつかえに注意を払ってあげて下さい。

ご質問やご相談は地域医療連携室までまた、富山労災病院ホームページもご覧ください

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構
富山労災病院 地域医療連携室
〒937-0042 魚津市六郎丸 992
Tel：0765-22-1354
Fax：0120-935-631 (フリーダイヤル)

富山労災病院からのお知らせ

富山労災病院では終日救急患者の診療を行っております。また、平日の午後5時以降および休日は救急外来を開設しており、病状により専門医師が診療いたします。
年末・年始も救急患者の診療を行っております。受診される場合 22-1280 までお電話下さい。

専門医紹介 腎・高血圧科



腎・高血圧科部長 絹野 裕之 (きめの ひろゆき)

—新たな国民病である慢性腎臓病(CKD)について—

最近、慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease:CKD)という新しい病気の概念が注目されています。CKDとは、腎障害を示す所見や腎機能低下が慢性的に続く状態で、放置したままにしておくと、末期腎不全となって、人工透析や腎移植を受けなければ生きられなくなってしまいます。さらに、CKDでは、心臓病や脳卒中などの心血管疾患にもなりやすいことが明らかになっており、いかにCKDを治療し、心血管疾患を予防するかが大きな問題となっています。

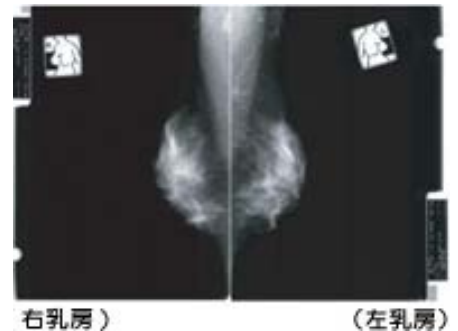
CKDの初期には、ほとんど自覚症状がありません。貧血、疲労感、むくみなどの症状が現われたときには、病気はかなり進行している可能性もあります。末期腎不全は世界的に増え続けておりますので、いわゆる“隠れ腎臓病”のうちに早期発見、早期治療することが大切です。定期的に尿検査や血液検査を受けましょう。

ご相談・お問い合わせは富山労災病院 内科外来または地域医療連携室まで

富山労災病院 高度医療機器の紹介 今回はマンモグラフィーです。

マンモグラフィー(乳房撮影)は乳がんを診断する非常に有効な検査の1つで、乳房専用のレントゲン撮影検査のことを言います。

乳がんは早期発見、早期治療をすれば治る病気です。定期的な自己検診とマンモグラフィーなどの健康診断が重要です。体のデリケートな部分の検査ですが、当院では女性の放射線技師が担当しています。



地域医療連携室 TEL:(0765)22-1354

FAX:0120-935-631 までお気軽にどうぞ!

ご案内

高精度体成分分析装置(インボディ720)が健康診断部に入りました。

この装置は体の細胞内外水分量、内臓脂肪量、筋肉量などを正確に測定し健康評価や栄養評価をおこなうことができます。臨床治療効果の確認の他、人間ドックや減量プログラム、運動療法などの保健指導に幅広く活用されることが期待されます。人間ドック、特定保健指導を当院でお受けいただきお試しく下さい。



専門外来の紹介

物わすれ外来:(月)(木)午前10時~12時

頭痛外来:(火)(木)(金)

午前11時~12時

しびれの外来:(月)~(金)午前9時~12時

関節外来:(月)~(水)午前9時~12時

腰痛外来:(水)午後1時30分~4時

リウマチ外来:(火)午前9時~12時

尿失禁外来:(水)午後1時30分~3時